

とらやまの森

<http://www.kyushu/env.go.jp/twcc/>

2011 秋号
NO.54



動物園↓下島

野生復帰事業、本格始動！

下島のヤマネコの絶滅を避けるため、動物園で生まれたヤマネコを下島で野生に帰す「野生復帰事業」を新たに始めます。

しかし、帰すといっても、動物園で生まれたヤマネコは生き餌の獲り方など、野生で生きていく方法を知らないため、訓練が必要です。また、野生復帰するためには、下島の環境をヤマネコが棲みやすいものにしてゆく事も重要です。そこで、野生復帰のための訓練や取組み等を実施する拠点施設として、厳原町の鮎もどし自然公園の一部に「野生順化施設」の建設を予定しています。

動物園で育った哺乳類を野生に帰す事業は国内初の取り組みで、訓練は慎重に行う必要があります。そのため野生順化施設では皆様にヤマネコを直接お見せすることはできませんが、モニターで訓練の様子をご覧頂くことができないか検討を進めています。

ツシマヤマネコに関連した取組みが対馬全島に広がり、全国的な知名度も上がることで、上島の対馬野生生物保護センターへの来館者や、島内外で対馬を応援してくれる方が増えることを期待しています！また、上島でもこれまでの取組みをさらに発展させてゆきたいと考えています。

環境省では、ヤマネコを守ることで対馬の社会全体が活性化することを目標としています。今後も、人もヤマネコも住みやすい社会を対馬全島の皆さまと一緒に模索してゆけたらと思いますので、どうぞよろしくお願います！

やまねこ News



まだまだ謎だらけ！
ヤマネコの行動の不思議

春から夏にかけて若い三頭（オス二頭、メス一頭）のヤマネコが野生復帰しました。野生復帰する際は保護された場所近くの山で放獣しますが、野生に帰った後の動き方はそれぞれ違います。

四月に峰町志越で野生復帰したオスは、放獣直後は大きな移動はせずに志越周辺で暮らしていましたが、放獣から一ヶ月後、突然姿を消し、一週間後になんと上県町仁田に出現しました。その後は落ち着いたようで、現在も仁田周辺で暮らしています。

一方、六月に上対馬町河内で野生復帰したメスは落ち着いた様子で大きな移動は見られず、三ヶ月経った現在も河内周辺で暮らしています。

八月に上対馬町舟志で野生復帰したオスは活発でした。放獣直後から大移動し、たった二週間で上対馬町五根緒へ大増し、浜久須へ津和へ網代へ大浦と渡り歩いたのです。

ヤマネコは単独で暮らす動物なので、親離れた後は住み処を求めて放浪すると考えられています。そのため、野生復帰したヤマネコもこのような大移動をしたのだと思います

が、移動を始めるタイミングも行き先もまだまだ分からないことだらけです。今後も野生復帰後のモニタリング調査を継続して様々なデータを収集してゆきたいと思っています。



交通事故にご注意！

毎年、春と秋に参加している交通安全キャンペーンに加え、夏のキャンペーンにも参加してきました。当日は、ツシマヤマネコの着ぐるみ「つばき」と「ろくべえ」も参加してくれ、参加者全員で、ヤマネコにも優しい安全運転を心掛けていただくようお願いしました。

これからのシーズンはヤマネコの交通事故が一段と多くなります。昨年度は十月以降三件の事故が発生しています。ゆつくり走ることに加え、道路脇で光る物を見つけたら一度減速してみてください。それはもしかしたら、ライトに反射したヤマネコの目かも知れません！

また、十一月十五日に「ヤマネコの交通安全展」を開催します。この展示では、ヤマネコの交通事故の現状や、どうすれば交通事故が防げるのか、など様々なことを知り、考えたりすることができると展示にしようと考えています。ぜひ一度センターまでお越しください。お待ちしております！



職員日誌⑮ 展示室に『U字溝出現』



センターが展示改修を終えて1年6ヶ月が過ぎました。来館者の方から「センターがきれいになった」「展示品が見やすくなった」とお誉めの言葉をよく頂きますが、来館者の方から素通りされているように見受けられるコーナーがあります。それが「カルバート通り抜け体験コーナー」です。カルバートとは、水路や道が道路と交差する時に設置される地下道のことです。今年の夏は、ツシマヤマネコ応援団、センター職員、実習生でカルバートの清掃作業を行いました。

秋は、今年の春に生まれたヤマネコが親離れをして移動します。このカルバートを利用して交通事故に遭わないように願っています。

センターに来館された時は、ヤマネコになったつもりで、カルバートの中を通ってみてはいかがでしょうか？



対馬市嘱託職員：田代
(出身地：対馬市)

お待ちしております♪



スーパー解説員♪

センターでは主に、来館者対応をしています。趣味は、消防の活動です♪

第9回ヤマネコ・クイズの答え！

答え. 福馬（現在、センターで公開しているヤマネコの名前は何でしょう？）

対馬の環 News



日本各地から
学生が集まった二十日間！

センターでは毎年、主に自然環境保全や野生生物保護などに興味のある学生を対象にした実習を行っています。今年も八月二日～十一日と十六日～二十五日の期間中、計十名の学生達を受け入れました。

学生達はヤマネコについての勉強だけでなく、ヤマネコのブースを出展したり、ツシマヤマネコ応援団の皆さんと作業をしたり、舟志の森自然学校のお手伝いをしたり、様々な事を体験しました。後期実習には島内の先生方も研修として参加して下さい、お互いに良い刺激になったようでした。

十日間の実習を終えた実習生達は、人とヤマネコの双方が対馬で暮らせるようになるにはどうすれば良いか、十人十色の想いを抱えてそれぞれの場所に帰っていききました。

今後は各地で、強力な対馬&ヤマネコのサポーターになってくれるはずですよ。実習生達を暖かく受け入れて下さった皆さま、本当にありがとうございました！



おうどん祭り(ヤマネコ展)の様子



レクチャーの様子

田んぼだより〜秋〜

暑い夏もおわり、田んぼは収穫シーズンを迎えて大忙しです。センターではヤマネコの生息環境の一つである田んぼを守る取り組みを行っています。

佐護区でも、減農薬の田んぼでの収穫がはじまっています。八月二十二日と九月二十一日には生き物調査を行い、田んぼにどのような生き物がいるかを調べました。

去年と比べて、全体的に害虫も益虫も少ないように感じられました。また、七月に設置したビオトープと水田魚道には、遡上したメダカやフナの子供たちがたくさん泳いで賑わいを見せています♪

今年もたくさんの発見があった田んぼの活動ですが、この発見を、より多くの人たちに知ってもらえるよう、来年も更に活動に力をいれたいと思います！



水田魚道とビオトープで生き物探し



どれどれ?どんな虫がいるかな?



Ag-Rinjya
山本かゆく

第12回

対馬の守人

対州馬
トレーナー

しのはら
篠原

ゆみえ
由美恵

さん

千葉で馬と動物に関わる仕事をしていた時、乗馬指導者の講習会で「対州馬の調教師募集」と聞いて「何故か」魅かれ、対馬にやってきました。現在、上県町の目保呂ダム馬車公苑で、生産・育成・調教から体験乗馬やレッスン、10月16日の初午祭に向けたジョッキー育成など忙しい日々を送っています。対州馬は「人懐こく、人見知りしない。感情豊かで賢く、多くの可能性を持った素晴らしい馬」。けれど、島内には約30頭しかいなくなっていました。

この対馬の宝を守るには、まず皆さんに対州馬の存在を知ってもらうこと。見た・触った・乗った、何でも良いから触れ合ってもらおうこと。そのため、希望する学校や高齢者施設を馬と訪問し、子ども達が馬と仲良くなったり、お年寄りが馬と触れ合い、昔を懐かしんでもらえる機会をつくることも検討しています。また、全国的な知名度の向上も大切です。この秋にはアサヒビールから対州馬振興会への寄付も決まり、保存活動に弾みがつくと期待されています。

お休みの日には、スキューバダイビングや愛犬との対馬探索ドライブを楽しみ、自然たっぷりの暮らしを楽しんでいます。温かい対馬の人たちと、とにかく綺麗な海が好きです。「動物が好き、スポーツを始めたい、趣味を持ちたい、リフレッシュしたいなど、乗馬には多くの魅力があります。対馬の皆さんが対州馬を知り触れ合い、出来れば乗ってもらえたら、と願っています。それが対州馬の未来に繋がります。」



あそびにきてね〜!

目保呂ダム馬車公苑
0920-85-1113(月・木休み)

センター用語

モニタリング調査・・・野生復帰後にヤマネコが元気に暮らしているかを確認すること。

センター News

イベント報告&情報

ー自然ふれあいイベント報告ー



赤米の里、豆酸散策♪

☆対馬の大自然観察会☆

ーアカハラダカと縄文の森とツシヤママネコー
9月17日(土)、対馬観光物産協会厳原支部と合同で、自然観察会を開催しました。センター職員による龍良山林道の観察会、観光物産協会による里地散策と、非常に充実した一日でした♪



千ヨウセンヤマアカガエル、発見!!

♪ヤマネコ教室♪



東進衛星予備校



日本大学



比田勝小学校

出張講座も実施中♪



武蔵高校



島原農業高校

やまねこセンターでは、島内外の方を対象に、ツシヤママネコや対馬の自然への関心を深めてもらう事を目的とした「ヤマネコ教室」を実施しています。

♪捨てペット防止キャンペーン♪

今年の夏も、「捨てペット防止キャンペーン」を実施しました!!学生さんやつばきちゃん達も、応援にかけつけてくれました。ペットは最後まで責任を持って飼ってくださいね☆



スーパータケスエにて



アリラン祭りにて



アリラン祭り

♪ヤマネコ展、開催しました♪

今年は、厳原町で行われた「アリラン祭り」と、上対馬町で行われた「おっどん祭り」の二つのお祭りに移動ヤマネコ展ブースを出展させていただきました!!



おっどん祭り

編集後記

夏も終わり、過ぎしやすい季節となりました。スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋…皆さんはどんな秋をお過ごしですか?私は手芸で、秋の夜長を楽しむ予定です。



『ママシに出会う』
二九月ほど前から、健康の為に三〇分くらいの軽いウォーキングを始めました。同じ時刻に合せて歩くようにして、一日に一回、九月の一日に出会いました。あとい歩でふむと、角形の頭がマムシの三つの特徴です。対馬にはマムシ、蛇毒も種類はありますが、蛇だけです。

休館日のお知らせ

通常は月曜が休館日ですが、月曜が祝祭日の場合は開館し、その翌日が休館日となります。

とらやまの森 No.54 2011 秋号



★「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。